

# いわて復興だより



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します  
平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。  
復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう! 岩手 つながろう! 岩手 第 141 号 平成 30 年 9 月号

## 「三陸防災復興プロジェクト 2019」プレイベント開催

釜石市  
KAMAISHI

8 月 18 日 (土)、「三陸防災復興プロジェクト 2019」プレイベントが、釜石市民ホール TETTO (釜石市大町) で開催され、およそ 700 人が来場しました。

同プロジェクトは、来年 6 月 1 日から 68 日間、本県沿岸部の 13 市町村を会場に開催するもので、復興に取り組んでいる地域の姿を伝え、国内外からの復興への支援に感謝する

とともに、日本国内はもとより世界の防災力向上にも貢献することなどを目的としています。

プレイベントでは、達増知事と大槌高校の生徒が「東日本大震災津波から得られた教訓を世界、次世代に伝え、国内外の防災力向上に貢献します」とプロジェクトの実施を宣言。郷土芸能や合唱・合奏なども披露され、復興への決意を新たにしました。

### 三陸防災復興 プロジェクト 2019

2019.6.1 SAT-8.7 WED

三陸がつながる。  
日本各地や世界とつながる。  
ひとつになって 更に前に進む。

■会場■ 岩手県沿岸部の 13 市町村

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町

公式 HP にて、PR 動画を公開しました。



第 1 弾



第 2 弾

三陸防災復興プロジェクト 2019

検索

<https://sanriku2019.jp/>



達増知事と生徒によるプロジェクトの実施宣言



郷土芸能の虎舞の披露

## 「釜石鵜住居復興スタジアム」完成、オープニングイベント開催

釜石市  
KAMAISHI

ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会の会場の 1 つとなる「釜石鵜住居復興スタジアム (釜石市鵜住居地区)」が完成しました。

同地区は、津波の際の鵜住居小学校や釜石東中学校の児童生徒の避難行動により、防災を象徴する場所として広く注目され、スタジアムは、

同小中学校の跡地に整備されたものです。

8 月 19 日 (日) には、「リポビタソ D 釜石鵜住居復興スタジアム オープニング DAY」が開催され、釜石高校 2 年の洞口留伊 (るい) さんが「釜石は、世界とつながる。釜石のために支援をしてくれた世界中の人

たちに感謝の思いを伝える」と力強くキックオフ宣言を行い、メモリアルマッチとして「釜石シーウェイブス RFC vs ヤマハ発動機ジュビロ」戦が行われ、スタジアムの完成により、ラグビーの街・釜石の新たな歴史がスタートしました。



完成した釜石鵜住居復興スタジアム



洞口留伊さんによるキックオフ宣言



メモリアルマッチの様子

## いわて復興応援メルマガが会員大募集!

知って、買って、食べて、行って 応援!

登録無料



首都圏にお住まいの方を対象に、メールマガジン会員 (いわて復興応援団員) を募集しています。登録していただいた方には岩手県の復興の取組や観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索





8月23日(木)、岩手県が、陸前高田市高田松原地区に整備を進めている「東日本大震災津波伝承館」の愛称が、応募件数893件の中から、高田高校(陸前高田市)1年の菅野由夏さんの作品を原案に「いわて TSUNAMI メモリアル」に決定しました。

(注)「TSUNAMI」に「つなみ」とルビ

菅野さんの応募作品は「津波メモリアル高田館」。震災を知らない子たちにも施設のことを知ってほしい」との思いから考案されました。

この原案をもとに、海外に向けた発信施設でもあることから「津波」を「TSUNAMI」とし、分かりやすくルビふるなど、県が補作して、決定しました。

同施設は、高田松原津波復興祈念公園の新しい道の駅内に整備し、来年9月のラグビーワールドカップ2019™釜石開催前の開館を目指しています。



高田松原津波復興祈念公園の整備イメージ図

JR東日本が、復旧工事を進めているJR山田線宮古～釜石駅間(55.4キロメートル)で、7月18日(水)、大槌川橋りょうの軌道敷設工事が完了。このことで全区間のレールがつながり、8月21日(火)から試験走行が始まりました。

ディーゼル機関車を使用し、宮古～釜石間で行われている試験走行は、線路や橋の強度を確認するためのものです。

同区間は、東日本大震災津波で線路が約8.5キロメートルにわたって流失し、6橋りょう、7駅が損壊しましたが、JR東日本が復旧する、磯鶏駅、津軽石駅、織笠駅、浪板海岸駅、鶴住居駅については9月末までに完成する予定です。

10月以降は、完成した鉄道施設の検査などを行い、2019年1月以降は、鉄道施設の安全性などについて最終確認を行う試運転を実施。2月以降には、三陸鉄道による訓練運転が行われる予定です。



試験走行を行うディーゼル機関車(写真提供:JR東日本盛岡支社)

## 未来へのメッセージ message

野田村



(写真提供:野田村観光協会)

野田村観光協会 北田 晴子さん  
(きただ はるこ)

### 避難後の状況も想定

私は、子どもを連れて避難しましたが、漠然と「避難してから2日くらいは帰れないだろう」と思い、避難場所での生活が頭に浮かび、子どものおもちゃも持って避難しました。

津波が到達するまで、40分ほどあったのが幸いでしたが、避難場所での生活を想定し、必要最低限のものをすぐに持ち

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた岩手県沿岸。復興が進む中、沿岸地域には、災害に関する多くの教訓が残されています。

将来予想される大震災。突然襲いかかる様々な災害。そんな災害に備えるために、岩手県沿岸地域から、未来のための教訓をお届けします。

出せるよう、日頃の準備が必要です。

### 生活品の備蓄が重要

災害、特に震災はいつ襲ってくるかわかりません。

震災後は、携帯電話の充電は欠かさない、また、車のガソリンが少なくならないように注意しています。

加えて、発災後は、道路が通れず買い物に行くのも困難でした。食料を手に入れるのも難しくなりますので、数日分の生活品の備蓄も重要です。



展望台(十府ヶ浦海岸)の  
大津波記念碑  
(写真提供:野田村観光協会)

### 野田村震災ガイド information

野田村は2011年3月11日の東日本大震災により震度5弱を記録。その後最大約18mの津波が来襲し、本村の住家1/3近くが被害を受けるとともに、漁業や商工業などが甚大な被害を受けました。

野田村観光協会では、震災の教訓を多くの方々に記憶していただくため、大津波の脅威を語り継ぎ、地域の復旧と復興への様子をご案内する「震災ガイド」を実施しております。

受入可能時間:8:30～16:00頃(要相談)

※8月はイベント対応のため要相談

受入人数:約40名まで(バス1台分まで)

所要時間:1時間程度

料金:ガイド1名につき1時間3,000円

■問い合わせ・申し込み■

野田村観光協会

TEL:0194-78-2012(野田村商工会内)

## 「岩手うんめえ～もん!! グランプリ 2018」開催

盛岡市  
MORIOKA

8月25日(土)、岩手県は「岩手うんめえ～もん!! グランプリ 2018」を、イオンモール盛岡(盛岡市)で開催しました。

これは、県内での6次産業化や農商工連携の推進、県産農林水産物の需要拡大を図ることを目的に、県産農林水産物を使用し、その特性を生かした加工食品を紹介、表彰するもので、今年度は新たに3つの特別賞を新設。

31団体計32点の加工食品が出品された中、最優秀賞に選ばれた藤勇醸造株式会社(釜石市)の「五穀甘粧」をはじめとして、津波で大きな被害を受けた沿岸地域の団体が多くの賞を獲得し、沿岸地域の産業の再生を強く感じる一日となりました。

【沿岸地区の主な受賞者】

最優秀賞	「五穀甘粧」藤勇醸造株式会社(釜石市)
ラガーそばっち特別賞	「米粉ぱすたスナックセット」 ひころいちファーム(陸前高田市)
三陸防災復興プロジェクト 2019特別賞・優良賞	「北限のゆずともろみのドレッシング」 株式会社八木澤商店(陸前高田市)
さんてつ特別賞・優秀賞	「トマさんソース」 非常利型一般社団法人かたつむり(大船渡市)



最優秀賞に選ばれた「五穀甘粧」



出品者の集合写真

## 田野畑村の子どもたちが 全国舞台で郷土芸能を披露

東京都  
TOKYO

8月20日(月)、「ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018」(主催:文化庁、公益社団法人全日本郷土芸能協会)が、日本青年館ホール(東京都新宿区)で開催されました。

これは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの一環として行われたもので、郷土芸能の伝承活動に取り組む全国8団体の子どもたちが参加しました。

岩手県からは、復興支援枠として、田野畑村の「大宮神楽」が参加。「大宮神楽」は、県が指定する無形民俗文化財で、テンポが速く、三拍子のリズムに乗りダイナミックに舞うのが特徴。同日は、大宮神楽伝承保存会の児童8人が、子孫繁栄を願う演目「綾遊び」を元気に披露しました。

その他、北海道、埼玉県、愛知県、島根県、長崎県、熊本県からの団体に加え、東京都に在日する海外団体が「インドの古典舞踊」を披露し、郷土芸能を通して、ふるさとの魅力を発信しました。



披露された大宮神楽(写真提供:公益社団法人全日本郷土芸能協会)



## さんりくイベント情報



EVENT

10/7  
日

### 龍泉洞秋祭り

岩泉町  
IWAIZUMI

場所▶龍泉洞園地

まつたけをはじめとする岩泉の特産品の販売や郷土芸能が披露されます。また、山田町のかき小屋、宮古市のサンマ焼き、軽トラマルシェ、各種キッチンカーが出店するなど、様々な秋の味覚を堪能できます。

問い合わせ▶龍泉洞まつり実行委員会  
(龍泉洞事務所内)  
☎0194-22-2566

10/7  
日

### 海フェスタ in ふだい

普代村  
FUDAI

場所▶太田名部漁港市場内

漁船が大漁旗をなびかせる海上パレード(有料)に乗船できるほか、海上遊覧(有料)、水上バイク試乗体験、活魚つかみどり大会など、様々なステージイベントが行われます。また、購入した魚をその場で焼いて食べることができる、炭火焼コーナーもあります。

問い合わせ▶海フェスタ実行委員会事務局  
(普代村建設水産課)  
☎0194-35-2116

10/21  
日

### 全国太鼓 フェスティバル

陸前高田市  
RIKUZENTAKATA

場所▶陸前高田市総合交流センター  
(夢アリーナたかた)

「いのちは、鼓動からはじまる」をキャッチフレーズに、平成元年にスタートして以降、毎年継続的に開催。当日は全国でも名高い太鼓集団が集結し、迫力満点の太鼓が鳴り響きます。今回は、新会場での開催となり、30周年という節目の年を、さらなる熱気で盛り上げます。

問い合わせ▶全国太鼓フェスティバル実行委員会  
(陸前高田市商工観光課内)  
☎0192-54-2111

地元特産品の購入  
郷土料理が味わえる

### 「産業まつり」 情報

#### 【金石まるごと味覚フェスティバル】

開催日■10/6(土)・10/7(日)  
場所■大町・青葉通り周辺  
問い合わせ■金石観光物産協会  
☎0193-27-8172

#### 【第3回たのはた村産業まつり】

開催日■10/7(日)  
場所■アズビホール及び施設周辺  
問い合わせ■田野畑村産業振興課  
☎0194-34-2111

#### 【宮古市産業まつり】

開催日■10/13(土)~14(日)  
場所■宮古市総合体育館  
問い合わせ■宮古市産業まつり実行委員会  
(宮古市産業支援センター内)  
☎0193-68-9092

#### 【久慈地方産業まつり】

開催日■10/13(土)~14(日)  
場所■久慈市文化会館アンバーホール  
問い合わせ■久慈地方産業まつり実行委員会  
(久慈市観光交流課内)  
☎0194-52-2123

#### 【第13回洋野町農業祭】

開催日■10/20(土)~10/21(日)  
場所■おおのキャンパス  
問い合わせ■第13回洋野町農業祭実行委員会  
(洋野町農林課)  
☎0194-77-2113

#### 【2018山田農業まつり】

開催日■10/21(日)  
場所■船越公園  
問い合わせ■山田町農林課  
☎0193-82-3111

#### 【大船渡市産業まつり】

開催日■10/27(土)~10/28(日)  
場所■大船渡市民体育館ほか  
問い合わせ■大船渡市産業まつり  
実行委員会  
(大船渡市観光推進室)  
☎0192-27-3111



